



東京都JRAT 能登半島地震リハ支援報告 初台リハビリテーション病院第2隊



第2隊(Dr,Ns,PT,OT)では2月10日から12日までの3日間、珠洲市内で活動を行いました。

珠洲市では報道されているように海沿いの地域を中心に建物やインフラに深刻な被害がでています。震災から約1か月経過した活動時には、多くの方々の尽力で少しずつ環境の整備が進んでいる様子を目にしました。

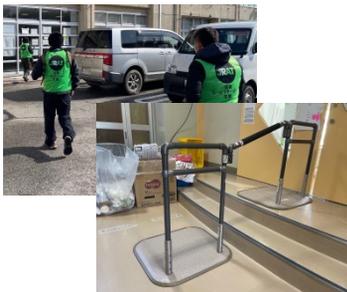
我々の活動内容としては3日間で21ヶ所の避難所巡回、4ヶ所の個人宅訪問を行い、集団対応、個別対応を行いました。

珠洲市保健医療福祉調整本部でのミーティング



珠洲市で活動する各団体が1日2回集合し、活動予定、内容の報告を行います。JRATにも発言機会が設けられ、災害支援の一員として活動していることを実感します。JRATで把握している情報だけでなく、ここで収集した他団体からの情報を参考にして日々の活動内容を検討します。

リハ支援活動



各避難所や個人の課題の抽出、解決に取り組みました。一度の関わりでは解決できないことも多く、先発・後発の他隊との連携が重要でした。珠洲市では珠洲市総合病院のリハスタッフに同行していただけるため、繊細な対応が必要な被災地の皆様との関わりを安心して行うことができました。

支援チームの生活



2月上旬時点ではスーパーやドラッグストアなどの営業が再開しており、食料品、日用品等を入手することができました。宿泊場所としては珠洲市総合病院のリハ室を利用させていただきました。プラットホーム上などで十分休息を取りながら日々の活動を行うことができました。